

# 堺の町の商人をたすけ、南蛮の船に「港ひらく」

## 三好長慶の歌 CD

### 畿内支配した「最初の天下人」



CDをつくった（左から）富永泰行さん、木岡清さん、竹内魁成さん＝大阪市中央区



南宗寺にある三好長慶の銅像＝堺市堺区

### 堺の団体が制作「大河の主役に」

戦国時代に畿内を支配し、織田信長に先んじた「天下人」ともいわれる武将・三好長慶（1522〜64）の魅力を表した歌「我らの長慶」のCDが完成した。長慶が経済の拠点とした堺市の町おこし団体が制作した。実績は「ドラマの主役級」だが、主君を追い出した印象も強い。長慶が居城した高槻、大東市などでもこの曲を歌い、好感度アップを目指す。

歌は7月2日、長慶が建立した南宗寺（堺市堺区）で開かれる「さかい三好まつり」で披露される。

長慶は阿波（徳島県）出身。17歳で決起。摂津江口の戦いに勝って大阪北部を掌握し、その勢いで京に上り、主君の細川晴元と室町幕府13代將軍の足利義輝を京から追放した。直後に義輝と和睦し、短期間ながら幕府で実権を握った。長慶と同郷のシンガー・ソングライター富永泰行さん（74）＝大阪市阿倍野区＝は、道理によって世を治め、民を安心させる発想の

「理世安民」を旗印にした長慶に惹かれ、歌を少しずつ作っていた。それをベースに、長慶を顕彰する団体の窓口を務める木岡清・徳島県人会近畿連合会長（67）＝堺市南区＝と一緒にCDを作ろうと考えた。

企業が寄付を集めて5月末にCD500枚を制作したのは、堺の町づくりグループ「堺・ちゅくちゅく会」。南宗寺に長慶の銅像を建てるとの実績がある代表世話人の竹内魁成さん（68）が尽力した。

歌は3分で男性コーラスが勇壮に歌う。「阿波の国は三芳野の郷に、その身おこし」で始まり、「堺の町の商人をたすけ、南蛮の船に港ひらく」と功績を紹介。「芥川の屋敷にありては、禅をおさめ」と畿内を制した芥川山城（高槻市）での生活に触れ、「齢四十三、飯盛に逝くも」と生涯を締めくくる。

飯盛城があった大東、四條畷両市でも長慶の顕彰は進み、両市は城跡の国史跡指定を目指す。仕えた主君を追い出した、晩年は家臣に利用されたなど、負のイメージを払拭するため、富永さんは「野球の応援歌のように覚えやすい歌にした。長慶を大河ドラマの主役にするためにも、歌を広めたい」と意気込む。

長慶を研究する堺市博物館の吉田豊・学芸員（61）は

# 大阪

堺泉州

大阪本社社会部  
☎06(6231)0131(代)  
fax 06(6201)3143  
mail:o-syakai3@asahi.com

広告のご用は  
朝日エリア・アド  
06(6221)2923  
大阪朝日広告社  
06(6205)8080  
折り込みは  
朝日オリコミ大阪  
06(6226)1290

購読のお申し込み  
配達お問い合わせ  
0120-33-0843  
(7:00~21:00)

「長慶の経済政策は信長や秀吉にも引き継がれた。最初の『天下人』として再評価されるべきだ」と話す。歌は8月28日にも、大阪市内で開かれる徳島県人会近畿連合会の会合で合唱さ

れる。CDはゆかりの団体に贈ったほか、長慶の顕彰を応援してくれる人に1千円を提供する。問い合わせは同会事務局（06・62251・0666）。

（村上潤治）